

枚方淀川探鳥会 2026年10月

2026年(令和8年)10月4日(日) 9:00～12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏
松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)

I 今月の鳥モズ



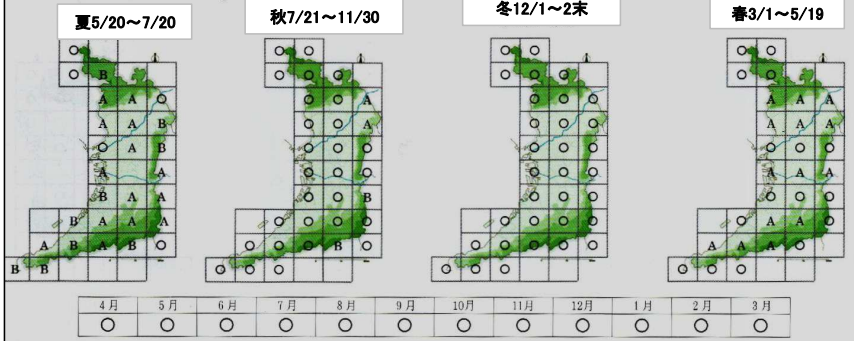
20260906 小河敏之氏

←①モズ スズメ目モズ科モズ属 英名 Bull-headed Shrike
L 20cm 漢字名 百舌 学名 *Lanius bucephalus*

モズは枚方淀川探鳥会ではほぼ毎月観察できる鳥。
今、「自分の縄張りを強く主張し、他のモズを威嚇する」ための「高鳴き」の季節です。「モズの高鳴き75日」と言われており、この季節にぴったりの俳句「ある朝の鵲(もず)聞きしより日々の鵲」安住 敦もあります。

一方「百舌」と名付けられている鳴き声は「2月頃から春」にかけて、オスがメスへ求愛するために小さな声で様々な鳥の鳴き声を真似てさえずることを表しています。
晩秋から初冬にかけての行動「モズの早糞」も知られており、モズが人と身近な所において、良く観察されていたことが分かります。

236. モズ *Lanius bucephalus* ○ 留鳥



←②大阪府のモズ

(大阪府鳥類目録 2016)

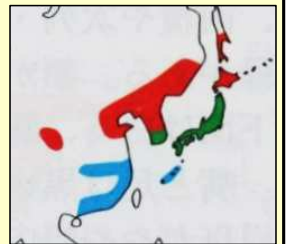
大阪府では留鳥として一年中観察され、大阪府内全域で繁殖しており、早春～晩夏まで繁殖記録がある。

④世界のモズ→

2000年平凡社

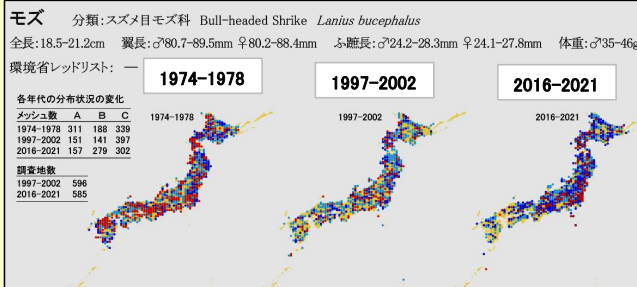
真木広造・大西敏一
(日本の野鳥590)

日本・朝鮮半島・
中国東北部サハリン
などに繁殖地がある。



③日本のモズ全国鳥類繁殖分布調査(鳥類繁殖分布調査会2021年)

北海道では夏鳥。
本州～九州は留鳥
平地から山地の疎林
農耕地、市街地などに
分布する。
九州・中国・四国地方
では記録メッシュ数が
減少傾向にある。



II 2026年9月探鳥会結果

枚方関西医大タワーの文字盤にはハヤブサ、
天の川の魚道には、今日の探鳥会資料に入
れたアオサギが、獲物の魚を待っていた。その
近くのシナサワグルミの小枝には、秋の渡り鳥
のコサメビタキを確認できた。
オオタカが営巣したことで河川敷に残された林
ではムクノキの実にムクドリの群、そのムクドリ
が磯島グラウンドのエノキにも来ていた。
先月は夏休みのため久しぶりの探鳥会、鳥は
23種でトータル個体数は少なかったが、枚方
市の最高気温は28℃にとどまり、過ごしやすい
探鳥日和であった。
尚、今月の探鳥会資料の探鳥会リストに今年3
月環境省が発表した「第5次レッドリストの絶滅
危惧ランク」を入れ、枚方淀川探鳥会の普通
種がキンクロハジロ・バン・コサギなどが、「無
指定」から3ランク上がって「絶滅危惧Ⅱ類」に
なったことを説明した。



アオサギの魚とり(3態)



ハヤブサ



イソヒヨドリ



セグロセキレイ

写真6枚 20260906 小河敏之氏

Ⅲ 探鳥会観察チェックリスト(第8版)

観察回数は、平が担当した2012年1月～昨年2024年12月までの13年間での観察回数です。
100回以上は留鳥、50回前後は冬鳥or夏鳥、10回以下は珍鳥？

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025								第8版			
				9	10	11	12	9	10	11	第5次RL				
				7	5	2	7	6	4	1			ランク	第4次	変化
12	カモ	マガン	1										12		
18		ツクシガモ	3	雨									18		
23		トモエガモ	2	天	○								23		
24		シマアジ	1	中									24		
26		ハシビロガモ	9	止		1							26		
27		オカヨシガモ	52			55							27		
28		ヨシガモ	21										28		
29		ヒドリガモ	48										29		
30		アメリカヒドリ	6										30		
32		カルガモ	97			○	4						32		
33		マガモ	58			○							33		
34		オナガガモ	8										34		
35		コガモ	62										35		
39		ホシハジロ	46				31				NT	無	2+	39	
40	アカハジロ	6								CR	DD	4+	40		
41		メジロガキ	1										41		
43		キンクロハジロ	47			○	256				VU	無	3+	43	
44		スズガモ	7			○	2						44		
56		ミコアイサ	2										56		
58		カワアイサ	50				6						58		
59		ウミアイサ	3										59		
64	キジ	キジ	54	1		○	2						64		
69	アマツバメ	2									VU	無	3+	69	
80	カウ	ホトギス	2										80		
82		ツツドリ	2										82		
83		カウコウ	1										83		
89		キジバト	123	4		○	3	6					89		
96	クイナ	クイナ	12										96		
100		バン	23								VU	無	3+	100	
101		オオバン	55			○	94						101		
103		ヒクイナ	7										103		
117	カイツブリ	カイツブリ	51			○	11						117		
119		カンムリカイツブリ	64			○	23						119		
121		ハジロカイツブリ	4										121		
127	チドリ	タゲリ	1										127		
128		ケリ	27										128		
134		イカルチドリ	9				2						134		
135		コチドリ	32										135		
136		シロチドリ	4								VU	VU		136	
144	シギ	チュウシャクシギ	2										144		
163		トウネン	1	雨							NT	無	2+	163	
165		ハマシギ	1	天							VU	NT	1+	165	
183		ダシギ	5	中									183		
188		イソシギ	89	2	止	○	2	1					188		
190		クサシギ	3										190		
192		キアシシギ	2										192		
198		アオアシシギ	1										198		
213		カモメ	ユリカモメ	22										213	
221			ウミネコ	3								VU	無	3+	221
222			カモメ	3										222	
226			セグロカモメ	20										226	
233			コアジサシ	9								EN	VU	1+	233
270			アド	シロエリオオハム	1									270	
315	ウ	カワウ	122	57		○	9	3					315		
319	トキ	ヘラサギ	1								FN	DD	2+	319	
320		クロツラヘラサギ	1										320		
328	サギ	ゴイサギ	10				1				VU	無	3+	328	
330		ササゴイ	18								VU	無	3+	330	
332		アマサギ	3								EN	無	4+	332	
333		アオサギ	124	4		○	7	3					333		
335		ダイサギ	120	3		○	12	3					335		
337		コサギ	111	8		○	9	5			VU	無	3+	337	
343		ミサゴ	75			○	4						343		
344		タカ	ハチクマ	2										344	
352			ツミ				1							352	
353			ハイタカ	36				4				NT	NT		353
354	オオタカ		27								NT	NT		354	
355	チュウヒ		2								FN	FN		355	
356	ハイロチュウヒ		1											356	
359	トビ		102	1		○	2	1						359	
363	サシバ		1								VU	VU		363	
366		ノスリ	37										366		
371	フクロウ	オオコノハズク	1										371		
384	カワセミ	カワセミ	106	2		○	3	1					384		
389		アリスイ	10										389		
390	キツツキ	コゲ	102	1									390		
394		アカゲラ	6										394		
402	ハヤブサ	チヨウゲンボウ	57			○	1						402		
407		ハヤブサ	31			○	2	1			VU	NT	1-	407	

Ⅳ 次回11月1日(日)

午前9時 ラポールひらかた前

今日と同じようにHPの専用フォームからお申し込みください。

昨年11月はキンクロハジロ・スズガモ・カンムリカイツブリなどの水鳥、ツグミ・ジョウビタキ・シメ・アオジなど、冬の走りの鳥たちが、次々出てくれました。

今年はどうでしょうか。



20251102 キンクロハジロに囲まれたスズガモ(平)

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025				2026				第8版
				9	10	11	12	9	10	11	第5次RL 第4次変化	
				7	5	2	7	6	4	1		
411	サンショウクイ	サンショウクイ	1									411
419	サンコウチョウ	サンコウチョウ	1		雨							419
425	モズ	モズ	114	1	天	○	12	2				425
435	カラス	ハシボソガラス	125	6	中	○	57	13				435
436	ス	ハシブトガラス	118	3	止	○	3	4				436
440	シジュウカラ	ヒガラ	1									440
442		ヤマガラ	7									442
447		シジュウカラ	116	3		○	4	7				447
448	ツリスガラ	ツリスガラ	1									448
450	ヒバリ	ヒバリ	88									450
456	ヒヨドリ	ヒヨドリ	126	2		○	215	23				456
458	ツバメ	ショウドウツバメ	6									458
461		ツバメ	64	5								461
462		イワツバメ	54			○	60					462
463		コシアカツバメ	23	2		○		8				463
464	ウグイス	ウグイス	119			○	2					464
467	エナガ	エナガ	90				1					467
476	ムシクイ	センダイムシクイ	7									476
479		エゾゲンクイ	1									479
481		メボソムシクイ	5									481
482		オオムシクイ	5							EN 無	4+	482
484	ヨシキリ	オオヨシキリ	33									484
485	キリ	コヨシキリ										485
497	セッカ	セッカ	32									497
501	メジロ	メジロ	103	4			4	3				501
502	キクイタダキ	キクイタダキ	8									502
507	ムクドリ	ムクドリ	113	28		○	55	35				507
509		コムクドリ	5									509
512		ホシムクドリ	2									512
525	ツグミ	マミチャジナイ	1									525
526		シロハラ	54									526
527		アカハラ	2									527
531		ツグミ	60			○	4					531
532		ハチジョウツグミ										532
533	ヒタキ	エビタキ	9									533
534		ササタキ	2									534
537		コササギ	18					1				537
539		オオルリ	4									539
543		ノゴマ	1									543

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025				2026				第8版
				9	10	11	12	9	10	11	第5次RL 第4次変化	
				7	5	2	7	6	4	1		
550	ヒタキ(倭)	キビタキ	16									550
554		オジロビタキ	1		雨							554
556		ルビタキ	1		天							556
561		ジョビタキ	80		中	○	3					561
564		イナゴドリ	30	2	止	○		2				564
568		ビタキ	13									568
575	スズメ	スズメ	125	30		○	80	5				575
584	セキレイ	キセキレイ	42			○	3					584
585		ハクセキレイ	116			○	14					585
586		セダコセキレイ	109	3		○	3	2				586
595		セバリ	35			○						595
597	アト	アトリ	29									597
598		シメ	42			○	5					598
600		イカル	17									600
606		ベニマシコ	44				3					606
608		カワラヒワ	114	2		○	7					608
613		マヒワ	6									613
618	ホオジロ	ホオジロ	119	1		○	4					618
622		ホオアカ	8									622
625		カシラダカ	23							EN 無	4+	625
626		ミヤマホオジロ	1									626
633		アオジ	70			○	9					633
637		オオジュリン	17									637
9	キジ	ゴジュケイ	13									9
11	ハト	カラハト(ハト)	121			○	51	10				11
30	ムクドリ	ハッカチョウ	1									30
		カウゴウSP	5									
		ノイガセ	3									
		メボソムシクイSP	7									
		ヒタキSP	3									
種数合計(自動計算)				24	42	47	23					
個体数合計(自動計算)				175		1144	141					
探鳥会参加者数				12	28	39	20					
13年間観 察回数				1~2回				2012年1月~2024年12月の13年間 ①観察回数の少ない種(1~2回) ②観察回数多い種(100回以上) ③樹林伐採の影響を受けるとされる種				

レッドリスト 絶滅危惧ランク

Ⅲ②環境省第5次レッドリスト

7月度の探鳥会資料に環境省第5次レッドリストを入れ簡単に説明しました。その後、いろんな種のランクを見比べた結果、第5次絶滅危惧ランク設定に2つの流れがあると思われることを、9月に続いて再録しました。

①全国の生息数が数百羽~千羽程度で、絶滅危惧が高いとしてこれまで保護されていた希少種で、生息環境が安定し個体数が少しずつ増えている種については、絶滅危惧ランクが下げられる方向にある。

⇒コウノトリ(CR→EN:1-)、トキ(EW→EN:2-)、タンチョウ(VU→NT:1-)、ハヤブサ(VU→NT:1-)

②一方、全国の生息数が数万羽レベルと思われ、枚方淀川探鳥会で普通に観察できることから、これまで絶滅の心配が全くないと思っていた普通種が、全国的に生息環境が悪化方向にあり生息数減少レベルが大きいとして、絶滅危惧にランクイン(しかも大幅アップ)した種がある。

⇒キンクロハジロ(無→VU:3+)、バン(無→VU:3+)、コサギ(無→VU:3+)、カシラダカ(無→EN:4+)

この結果、「希少種と思われるハヤブサ(NT)よりも、普通種のキンクロハジロ・バン・コサギ(VU)の絶滅レベルが上」という、不思議な状況になっています。

V (愛称)野鳥通りの今昔

